

松本直高の “お約束” 進捗状況

お約束

進捗

外部委託による効率化

交野市が行うよりも民間に任せた方が、効率的かつ市民サービスの向上が望めるような事業は、外部委託を検討し、行政のスリム化などを図るよう提言します（交野市版市場化テストの導入）。

財政規模の拡大

“節約” だけではもちません。財政規模の拡大を目指すべきです。積極的に、第二京阪道路周辺地区の土地区画整理事業に協力することで、住民税や固定資産税などの税収アップを図るよう提言します。

チェック機能の強化

交野市の財政状況に鑑みると、内部監査機能の強化だけでは十分とはいえません。外部監査の導入を検討するよう提言します。

住民や地権者との計画的なまちづくり

第二京阪道路が開通した今、交野市は大きく変わろうとしています。“まちづくり” は、住環境や街なみだけでなく、市の税収にも大きな影響を及ぼします。住民や地権者と、しっかりコミットして計画的に進めていくべきです。

※「まちづくり」とは、市民等と協働・協力して、自らの生活または活動している場を快適かつ魅力あるものにしていく諸活動のことです（住民自治の実現）。

成年後見制度の啓蒙・啓発

パンフレット作成や市民向けの講演会などによって成年後見制度の周知を図ることを提言します。

市長申立の件数増加

『市長申立』が必要となる市民が、もっと利用しやすくなるように、手続の効率化を図るため「親族調査の外部委託（平成 22 年度に堺市で実現）」などを提言し、申立件数の増加を目指します。

成年後見制度利用支援事業における対象者の拡大

厚生労働省の通知に則した『成年後見制度利用支援事業』の運用を提言し、多くの市民が安心して成年後見制度を利用できるよう目指します。

✓ 提言済み（一部実現）

平成 25 年 10 月より『水道料金徴収業務等』の民間委託がスタートします。引き続き、行政の効率化に向け『市場化テストの導入』など提言の実現を目指します！

✓ 提言済み

引き続き、提言の実現を目指します！

✓ 提言済み

引き続き、提言した『外部監査制度の導入』の実現を目指します！

✓ 提言済み

引き続き、提言の実現を目指します！

星田北・星田駅北地区にかかる予算の推移

H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
50万円	250万円	930万円	1,530万円

✓ 提言済み

引き続き、提言の実現を目指します！

✓ 提言済み

引き続き、提言の実現を目指します！

👍 実現！！

要綱改正により、助成対象者が拡大しました。引き続き、より良い制度運営に向けた提言を行います！

M REPORT

2013.11
瓦版
Kawara-ver.

自由民主党 交野市議会議員

松本直高

まつもと

なおたか

市政報告会のお知らせ
平成 26 年 2 月に予定しています。
日時は決定次第お知らせします。
今回は、皆さまのご意見を伺う
座談会の時間を設けさせていただきます。
ぜひ、ご参加ください。



松本直高 8月視察報告 北海道ニセコ町・小樽市視察

今、交野市には、自治基本条例としての性格の条例はありません！自治基本条例は、とかく「外国籍住民の地方参政権」等の各論ばかりが目立ちがちですが、総論としては、その地方公共団体において、従来、関連なく存在するルールに関連性を持たせて体系化し、行政の構造を整えるためのフレームワークとなるルールといえます。『自治基本条例』発祥の地であるニセコ町への視察は、基礎自治体の役割を考える上で、とても有意義でした。



ニセコ町役場



小樽・北しりべし成年後見センター

また、小樽市では、小樽市の成年後見制度への取組みと、全国的に脚光を浴びている『小樽・北しりべし成年後見センター』の視察を行いました。このセンターは、地域福祉における成年後見制度の活用のため、小樽市長の指示の下、担当者が試行錯誤の上、色々な国の補助金制度を活用し、広域行政にて設置が実現されたものです。このようなセンターは、将来的に、交野市にも必要であると考えています！

一年間の所属委員会等

- ・総務文教常任委員会 委員
所管：総務部、地域社会部、教育委員会、行政委員会、その他（他の常任委員会に属さないもの）
- ・決算対策特別委員会 委員
- ・その他の委員会・派遣議員の決定
交野市都市計画審議会 委員
交野市山地对策協議会 委員
四条畷市交野市清掃施設組合 議員

TOPICS

『交野市議会基本条例』が可決成立しました！！

この条例が施行されることによって、議会機能が強化された新たな交野市議会になります！
条例の趣旨が反映された議会運営が重ねられていくことによって、今よりも、交野市議会の存在意義もハッキリとてくるものと期待しています。
条例ができて終わりではありません！

運用規程などの下位規範の制定など、来年1月の施行に向けて、まだまだ、やるべきことが残っておりますが、とりあえずの“一区切り”です。条例本体も、見直し・改正の規定に従って、常にブラッシュアップが必要となります。
要は、これからです！！

JOIN US! 学生インターン募集中

政務調査や事務、ポスティング活動など協力頂ける学生の方を募集しています。



第3回市政報告会でのインターン生の様子

お問い合わせ先
TEL:072-892-7055
E-mail: naosan7055@yellow.plala.or.jp

最新の情報はこちらをご覧ください



「わくわくかたのクラブ」ホームページ
http://www.business1.jp/wakuwaku_katano



Find us on Facebook!
<http://www.facebook.com/naotaka.matsumoto.7>



松本直高
PROFILE

平成 23 年 9 月交野市議会議員選挙 初当選（1 期目） 自民党大阪府連市町村議員連盟事務局長・青年局長兼会計監査【最終学歴】同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程（後期課程）在学中
【現在】税理士・行政書士（アクトブレイン総合事務所 所長） 特定非営利活動法人シビルブレイン 会長（前代表理事）など



交野市マラソン大会について

市民の期待と信頼に足り得る事業のあり方について

公正で透明性が確保されたマラソン大会を!

第3回目の『交野市チャリティーマラソン大会』(以下「マラソン大会」と省略)の開催が決定されました。このマラソン大会は、市民も大いに期待をし、楽しみにしているイベントです。マラソン大会に期待をしているからこそ、その開催や運営について説明責任の観点から、市民から不信感を抱かせないよう事業の正当性と適法性を明確にしなければならないと考えております。松本は、市の**財政と協働**に大きな関心をもって市政を質しています。この質問はその一環であり、各論的なテーマの一つです。

Q 松本	マラソン大会の『公益性』について、市としてどのような政策・施策に基づく事業であるのか。また、どのような必要性と経緯において、民間営利企業と共同で開催することになったのか、その意思形成過程についても説明をお願いします。	Q 松本	協働事業の形態は『共催方式』なのか『実行委員会方式』なのか。なぜ、その事業形態なのか、それ以外ではできない理由を添えて説明をお願いします。
A 市長の答え	第4次交野市総合計画基本構想に定めがある「暮らしの夢の実現」に向けた事業で、その施策目的は「産業活動の振興」及び「地域活性化の促進」さらには「市民の健康増進」「生涯スポーツ社会の実現」などを旨とするものであります。また、事業実施の方法につきましては、大きなイベントを成功させるための ノウハウや資金力が市や体育協会では乏しく 、市、体育協会と民間事業者、それぞれの強みを持ち寄って実施する協働事業であります。意思形成過程につきましては、特別職、関係部署とともに協議をし、市としても共催することを決定いたしました。その後の事業継続についても、特別職、関係部署と協議しながら、私が判断し、指示したものであります。	A 答え	マラソン大会は、 交野市、交野市体育協会、民間事業者の三者の協働事業 であり、『共催』という仕組みを取り入れた理由としては、市が同規模の事業を単独で実施することは困難であり『後援』のみで、市が一切の支出をしなければ、参加料の増高することが想定され、結果として、大会規模が縮小することになり、過去2回と同様の事業効果が得られないと考えてのことです。
Q 松本	第3回の開催決定にあたり、これまでの事業効果をどのように認識・分析されたのか。まさか、参加人数のみが評価対象ではないはず。でき得る限り詳細な説明を求めます。	Q 松本	そんな 重要 と位置づけている事業であるならば、もっと行政負担を増やして、参加料(キロ割にすると、府内の同様のマラソン大会と比べて高い!)を、他の大会と同レベルにまで下げるといことは考えられないのか? → 答弁なし! 行政負担の多寡ではなく、適正さを求めている!!
A 答え	議員ご指摘の事業評価についての重要性というものは認識しております。第3回目以降につきましては、参加者へのアンケートの実施なども含めまして、 もう少し数値化を図るなど、より客観的な評価となるように工夫をまいりたい と考えております。	Q 松本	血税である公金を支出している以上、議会・市民に、その使い道を示すのは説明責任そのものであります。議会・市民への情報開示のあり方を含めた市の対応と考え方について説明を求めます。
A 答え		A 答え	マラソン大会にかかる議会・市民への説明について、今後の課題として、単なる告知にとどまることなく、市としての目的など、もう少し丁寧に説明を重ねていくことを検討したいと考えております。また、今後、市民への説明責任という観点も含めまして、予算書や決算書への記載方法につきましても、本事業に要する経費であることがわかりやすいように努めてまいりたいと考えております。

これまでの一般質問のテーマ

交野市議会HP「会議録」や市政報告書から内容をご確認いただけます!
http://www.kaigiroku.net/kensaku/katano/katano.html

一般質問 議会定例会	質問内容	市政報告書
平成23年 第3回 議会定例会	行政経営について ・交野市における「経営」の概念について 財政状況について ・財政黒字について ・基金について ・民生費の増加について ・財政再建への取り組みについて	福祉行政について ・「徘徊高齢者等SOSネットワーク事業」について ・「徘徊高齢者等」に対する権利擁護への取り組みについて No,01 掲載
平成23年 第4回 議会定例会	適正な行政手続きについて ・本市における現状について ・ パブリックコメント規則の制定	まちづくりについて ・第二京阪道路沿道整備の状況について
平成24年 第1回 議会定例会	施政方針について ・戦略と各セクションの取り組みについて 民間活力の導入について ・導入状況と今後の対応について	まちづくりについて ・第二京阪道路沿道のまちづくり支援について No,02 掲載
平成24年 第2回 議会定例会	公会計の状況について ・財務書類(財務4表)の活用について ・ 連結財務諸表の導入	監査制度について ・監査制度の充実と強化について No,03 掲載
平成24年 第3回 議会定例会	福祉行政について ・高齢者や障がい者の権利擁護への取り組みについて	美しい住環境整備について ・“ペットのフン害”問題への市の見解と対応について No,04 掲載
平成24年 第4回 議会定例会	財政について ・平成23年度決算の評価と今後の財政の展望について ・将来負担比率について ・財政健全化計画について	
平成25年 第1回 議会定例会	契約事務の適正化について ・とりわけ『随時契約』について	
平成25年 第2回 議会定例会	協働について ・「協働」に対する理解と実施状況等について	
平成25年 第3回 議会定例会	交野市チャリティーマラソンについて ・市民の期待と信頼に足り得る事業のあり方について	互版 2013年11月号 (本号)掲載

ポイント | “民間業者ありき”でしかできないマラソン大会は「かたのサイズ」なのか?

今回の一般質問では、マラソン大会の開催実績(ノウハウ)のない民間業者を非公募で選定した(市長答弁とも矛盾)という“癒着”や“依存”の疑念を払しょくできなかった。

- 民間業者への“依存”ではないのか?
- 公金負担の必要性についての説明が不十分
- 「行政負担」は**公金支出**だけではない!

説明責任と内部統制に問題アリ!!

市が直営する共同開催の事業について、議会・市民において**“実態を把握できていない”**という現状が問題である!

広告などの便益供与もある!
▶ 広告代理店などに依頼すると多大な費用がかかる

コラム | column

むずかしい「財政」を分かりやすく!

活動報告書の第3号で報告しておりました市の財務状況を表す4種類の財務書類(財務4表)に**『連結財務諸表』が導入されました**(参照:交野市のホームページ「財務諸表の公表」)。これは、平成24年6月議会における一般質問において**『導入が遅れている!』**と指摘していたものです。

従来の普通会計(一般会計+公共用地先行取得事業特別会計)だけではなく、国民健康保険特別会計などの特別会計、水道などの公営企業会計や土地開発公社なども含めた地方公共団体としての交野市“全体”の財政状態を表したものです。それによりますと、たとえば、平成23年度末時点の全体の**負債合計額は「61,774,915千円」(約618億円:普通会計だけなら約344億円)**にもなります。

これからも、専門家の視点から、納税者であり市の利害関係者である住民の皆様に対する説明責任を果たすべく、さらに“分かりやすい”財務諸表を目指すよう提言を続けます。